

肝胆膵内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の臨床研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学病院倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開することが求められている研究です。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	B型肝炎における遺伝子型分布の変遷および分子生物学的検討
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	肝胆膵内科
研究責任者	(職名) 教授 (特任) (氏名) 伊藤清顕
研究の意義・目的	B型肝炎ウイルス (HBV) は世界的に A~J の 10 種類のジェノタイプに分類され、各ジェノタイプにより地理的分布が異なること、臨床像に違いがあるということが明らかにされています。我々はこれまでに 5 年ごとに B 型急性肝炎および慢性肝炎の全国調査を行ってきました。このような全国調査を継続的に行うことにより国内の B 型急性肝炎および慢性肝炎のジェノタイプ分布の動向を含めた全体像を把握したいと考えています。また、本研究においては血清中の HBV の遺伝子や分泌蛋白に関して分子生物学的手法を駆使することによって HBV のウイルス表面および分泌蛋白上の糖鎖修飾と病態との関連を明らかにして感染対策の基礎としたいと考えています。
対象となる患者さん	2026 年までに当院を受診した B 型急性肝炎および慢性肝炎の患者さん
研究の方法	愛知医科大学病院内科外来および病棟において B 型急性肝炎および B 型慢性肝炎 (肝硬変、肝癌患者を含む) 患者さんから同意取得の後に愛知医科大学肝胆膵内科へ登録します。保存血清を使用するか通常の診療に必要な採血を行う際に肝炎ウイルス解析用の血液を採取します (9mL)。この検体は愛知医科大学肝胆膵内科研究室において血清に分離され解析まで -80℃ で保管し、肝炎ウイルスの解析を行います。共同研究施設においても B 型急性肝炎および B 型慢性肝炎患者さんから同意取得後に個人情報を削除して診療情報を愛知医科大学に送られます。また、一部の患者さんに関しては同意取得後に保存血清または血液を採取して (約 9mL) 各施設において血清を分離します。この検体は愛知医科大学に送付され解析まで -80℃ で保管し、B 型肝炎ウイルスの遺伝子変異や遺伝子型に関する解析を行います。次世代シーケンサーを用いた一部の解析は国立国際医療研究センター 肝炎・免疫

	<p>研究センターにおいて行われます。</p> <p>研究計画や研究の方法についての資料を入手または閲覧することを希望される場合は、担当医師にその旨をお伝え下さい。個人情報保護やこの研究の実施に支障をきたさない範囲で提示いたします。</p>
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2026年3月31日
個人情報の取り扱い	<p>この研究に参加された場合、あなたの個人情報は適切に取り扱われ、プライバシーは保護されます。研究の結果が、学会や医学論文などで公表される場合がありますが、患者さん個人を特定できるような情報は一切含まれません。</p> <p>利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。また、研究結果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
その他	
問い合わせ先	<p>愛知医科大学</p> <p>医学部内科学講座 肝胆膵内科</p> <p>担当者：(職名) 教授 (特任) (氏名) 伊藤清顕</p> <p>電話 0561-62-3311 (内線 23480)</p>